KAWASAKI CLUB NEWS
vol.19
DEC. 2016

川崎医科大学総合医療センター12月1日開院

平成25年12月に着手した川崎医科大学総合医療センターの建築工事は、33か月の工期を経て、平成28年8月末に竣工し、旧病院からの備品の移転や患者さんの移送も無事に完了し12月1日㈭にめでたく開院を迎えました。

11月19日㈯の開院式典では、午前10時30分から開院式（川崎誠治理事長挨拶、来賓祝辞、テープカット）、続いて内覧会・祝賀会が開催され、行政、教育、医療関係の来賓、学園関係者ら約190名の方々にご出席いただき、盛大に開院を祝いました。

開院に先立ち数日にわたって内覧会*を行い、約10,000名の皆様に最新の設備や医療機器、快適な療養環境の様子をご覧いただきました。テレビ・新聞等マスコミ各社からも多数取材があり、地域の皆様からの高い関心と期待、また、地域の活性化への願いを改めて認識いたしました。

開院前日の11月30日㈬には、入院患者さんの新病院への移送と附属川崎病院の閉院式を行いました。

患者さんの移送は、職員約500人により、午前8時30分から軽症者から順に搬送。救急車2台、ドクターカー2台、寝台用タクシー・福祉タクシー7台で往復し、106名の搬送を予定より早い約4時間で無事完了しました。

午後6時30分からは、1階東玄関ロビーで附属川崎病院の閉院式が行われました。川崎誠治理事長からは、『川崎病院開院50年誌』の初代院長 川崎祐宣先生の巻頭言が配られ、「病院は患者さんのためにある」の理念継承とこれまで川崎病院に尽力いただき諸先輩・現職員への感謝が述べられました。

＊内覧会は次のとおり行われました。
11月初旬 町内会の皆様。11/12㈯・13㈰教職員・学生・家族・KAWASAKI CLUB会員・報道関係者。11/19㈯・20㈰招待者。11/20㈰・21㈪一般見学会。

中央から右へ
加藤　勝信　一億総活躍担当大臣
伊原木隆太　岡山県知事
大森　雅夫　岡山市長
石川　　紘　岡山県医師会会長
中央から左へ
川崎　誠治　理事長
川崎　明徳　学園長
福永　仁夫　医科大学学長
猶本　良夫　総合医療センター院長代理

一般見学会の様子（11月20日）予定時刻前に病院北側の交差点まで続く長蛇の列ができ、時間を早めて入場開始

附属川崎病院から新病院への患者移送（11月30日）106名の患者さんを約4時間で無事搬送

附属川崎病院の閉院式（11月30日）川崎理事長、猶本院長代理の挨拶に続き、職員を代表して、沖本副院長、新看護部長が挨拶

開院日12月1日の1階総合受付。当日は混乱を避けるため、予約を通常より少なくした

開院式での川崎誠治理事長（院長）の挨拶とともに、新病院の概要、診療方針、抱負をご紹介します。

（※挨拶文は原文のまま。各見出しは広報連携室にて加えたもの）

開院式　理事長挨拶 ―――― 2016年11月19日

本日は、一億総活躍担当大臣加藤勝信様、岡山県知事伊原木隆太様、岡山市長大森雅夫様をはじめ、ご来賓の皆様には大変ご多用中にもかかわらず、川崎医科大学総合医療センターの開院式にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

■附属川崎病院のあゆみと果たしてきた役割

今年は川崎学園の創設者で、私の祖父である川崎祐宣が亡くなり20年目に当たります。鹿児島の片田舎、姶良（あいら）郡横川町、今の霧島市で生まれた川崎祐宣が岡山医科大学を卒業後、昭和13年に夜間診療所、外科昭和医院を開業、翌14年、岡山市中山下に外科川崎病院を開院したことが、川崎病院の始まりです。病院は患者さんのためにある、年中無休、24時間昼夜診療をモットーに、地域の皆様に信頼される病院として発展してまいりました。

この川崎病院を母体として開設された川崎学園は、昭和45年に戦後初の新設医科大学である川崎医科大学を開学、その後、川崎医療短期大学、川崎医療福祉大学を開学し、チーム医療の担い手である良き医療人の育成に努めてまいりました。川崎病院は地域の中核病院としての役割に加え、医学生をはじめ、多くの学生の実習や研修を受け入れる教育病院としての役割を果たしてまいりました。

■新病院建設の経緯

近年、病院の老朽化が進み、また最新の医療ニーズに応えるには手狭になり、病院の建て替えが喫緊の課題となっておりました。このような状況の中、岡山市中心部の児童数の減少により岡山中央南、旧深柢小学校の閉校が決まり、その跡地活用が検討される中、1万人を超える地域住民の皆様の「小学校跡地に新病院を建設し、安全で安心な質の高い医療を継続してほしい」との要望を受け、岡山市議会でもその陳情を採択していただき、平成23年7月、岡山市と小学校跡地活用事業に係る基本協定を締結いたしました。その後、埋蔵文化財発掘調査を行い、平成25年9月の起工式から丸3年の工期を経て、本年8月、無事竣工を迎えることができました。設計、工事を担当してくださった株式会社竹中工務店様には大変感謝をいたしております。

■新病院の概要

新病院は地上15階、地下2階の延べ床面積約7万8000平米、免震構造を採用した災害に強い建物となっております。地下2階から4階までの低層階は外来部門で、救急外来は旧病院の6倍の面積になり、今まで以上にお断りすることのない救急医療を目指します。画像診断センターでは最新のPET/CT、MRI、CTなどの画像診断装置が増設されます。がん診療においては、外来での化学療法が快適に行える通院治療センターを開設し、また、新たに最新鋭の放射線治療装置を導入いたしました。長年にわたり要望の強かった緩和ケア病棟もオープンいたします。

5階から7階は手術室や教育研究部門です。手術室は12室、先般、最新の手術支援ロボット、ダヴィンチを導入し、低侵襲で精度の高い手術が可能となりました。開院後は新たに心臓手術も開始いたします。

8階以上の高層階が病棟となり、病床数は647床、患者さんがゆったりと療養できるよう、個室を多く採用し、アメニティに配慮した病棟で、一人ひとりの患者さんに優しく丁寧な診療、看護を展開していきます。

旧深柢小学校跡地のグラウンド部分は、地域の皆様の憩いの場として、また、災害時の避難場所として利用できる公園として整備し、「深柢ガーデン」と名付けました。また、地域の皆様にご利用いただけるよう「川崎祐宣記念ホール」「かわさきコミュニティホール」の2つのホールも新設いたしました。

■決意と抱負

12月1日に開院いたしますこの新病院は、川崎医科大学の第2の附属病院として、最先端の高度医療の提供とともに、これまで通り救急医療をはじめとした地域に密着した医療、すべては患者さんのためにあるという病院の原点の思いを実践し、時代のニーズに合った総合医をはじめとする全人的医療を提供できる良き医療人の育成を目指していきたいと考え、川崎医科大学総合医療センターと名前を新たにいたします。

教職員一同、今日の日の感激を常に胸に抱き、一丸となってこの目標に向かって邁進する所存でございます。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本日ご臨席いただきました皆様のご健勝と今後のますますのご発展をお祈りいたしますとともに、なお一層のご指導とご高配を賜りますようお願い申し上げ、開院の挨拶といたします。

※「開院記念市民公開講座」を12月から毎月開催します。P8をご参照ください

8階のリハビリテーション庭園。回復期リハビリテーション病棟とリハビリテーションセンターと同じフロアに配置

家具で仕切られた個室的4人室。カーテン仕切りの4人室の他、トイレ付き個室、トイレ・シャワー付き特室等がある

中央手術室は外来と病棟いずれからも動線が良い7階。心臓手術やダヴィンチ手術が可能な広い2室を含め12室。ダヴィンチXiの導入は岡山県内初

最新の放射線治療装置　リニアックを導入し、強度変調放射線治療（IMRT）を使ったがん治療を始める

救急外来の重症処置室。救急外来、小児科外来、総合診療外来を同じエリアに配置

平成30年4月「かわさき認定こども園」開設

このたび学園では、倉敷市から社会福祉施設整備計画（平成28年度保育所等整備分）の事業選定を受け、平成30年4月に認定子ども園を開設いたします。

保育士･幼稚園教諭の養成校を擁する法人として、その高い専門知識･技術を活かし、「すべての子どもに質の高い幼児期の学校教育および保育の総合的な提供を行う」ことを目的としています。医療･福祉分野での専門性も加えて、子ども一人ひとりを大切にした園の運営を行います。この認定こども園は、平成29年4月に医療福祉大学に新設する“子ども医療福祉学科”の学生をはじめ、既設学科等の実習先ともなります。

理念には、学園の理念と連続性のある「人間（ひと）をつくる　体をつくる　生涯にわたる知の基盤をつくる」を掲げ、学園内の各施設との連携により、義務教育およびその後の教育の基礎を養うとともに、子どもの最善の利益を保証しつつ、保護者と共に、健やかな子どもの育成に取り組みます。

学園がこれまでに培った医療･福祉･教育活動に関する実績のもと、新たに認定こども園を加え、人々の健康とQOLの向上、また、医学･医療の発展に寄与する立場を堅持しつつ、社会的ニーズに応えながら、将来の医療福祉を担う有為な人材を育成し、地域の発展にますます貢献していくことになります。

【認定こども園の概要】

名　　称：かわさき認定こども園
利 用 定 員：1号認定24人（3歳8人，4歳8人，5歳8人）
　　2号認定60人（3歳20人，4歳20人，5歳20人）
　　3号認定30人（0歳5人，1歳10人，2歳15人）
施設の概要：鉄筋コンクリート造2階建、
　　延床面積1,591.05㎡、敷地面積6,480㎡
設置予定地：医療福祉大学北側（駐輪場・弓道場の北）

上海中医薬大学創立60周年記念式典に出席

5月27日㈮から30日㈪まで、川崎誠治理事長をはじめとする5名が、上海中医薬大学と上海健康医学院を訪問しました。川崎学園は、上海中医薬大学とは1984年に、上海健康医学院とは1987年に友好大学提携を結び、約30年間にわたってさまざまな分野で交流を深めています。

上海中医薬大学では、創立60周年記念式典に出席。各国から来賓が招かれ、貢献者の表彰等が華やかに行われ、午後からは「High-Level Forum for Overseas Partner Institutions of Shanghai University of Traditional Chinese Medicine」が開催されました。川崎学園は上海中医薬大学にとっては最初の海外協定校で、秋山副学長が、交流の始まった経緯やこれまでの留学生の様子などについて報告しました。

5月29日㈰には、上海中医薬大学において、川崎学園創設者川崎祐宣先生の胸像除幕式が挙行されました。胸像が建立されたのは国際交流センターの正面玄関脇で、同大学が学園との関係をいかに重視しているかを物語っており、今後の交流を優しく見守ってくださると感じました。

上海健康医学院では、表敬訪問の後、意見交換会を持ち、今後の交流について活発な話し合いが行われました。

上海中医薬大学創立60周年記念式典
　左から　椿原彰夫医療福祉大学長、園尾博司附属病院長、
　　川崎誠治理事長、秋山祐治医療福祉大学副学長、伊地知均事務局長

川崎祐宣先生胸像除幕式で。
上海中医薬大学 徐建光学長と川崎理事長

学園の今（H28.5月～H28.12月）

Webサイトで最新のトピックをご覧いただけます。（ ）は開催日　川崎学園HP > News&Topics　KAWASAKI CLUB HP > 学園の今　各施設Webサイト

◆上海中医薬大学創立60周年記念式典に出席（5/27～30）
◆附属川崎病院 第4回医療連携懇話会（6/8）
◆医科大学 勝村達喜先生を偲ぶ会（6/18）
◆川崎医学･医療福祉学振興会 助成金贈呈式（7/6）
◆AMDAと医療連携協定締結（7/6）
◆医科大学 植木宏明先生を偲ぶ会（7/16）
◆医療短期大学 かわさきわくわくこどもまつり2016（7/23）
◆附属病院 ホスピタルクラウン活動開始（8/18）
◆医科大学 かわさき夏の子ども体験教室2016（8/18,19）
◆総合医療センター 竣工（8/31）
◆附属病院 第9回医療連携懇話会（9/14）
◆第42回川崎学園祭（10/8,9）
◆総合医療センター 開院式（11/19）
◆総合医療センター 開院（12/1）

「笑顔満祭」第42回川崎学園祭開催

「川崎学園祭」は、学園創設6年目の昭和50（1975）年、川崎祐宣初代理事長の提唱により、学園の全施設が統一テーマのもとに開催するものとして始まり、今年で42回目を迎えました。

10月7日㈮の「前夜祭」からスタートし、8日㈯、9日㈰の両日、好天にも恵まれ、地域の方々をはじめ学園内外から多数のご来園をいただきました。今年の統一テーマは「笑顔満祭」。川崎学園祭にお越しくださる皆様の笑顔で溢れる、楽しい学園祭をめざしたい、という学生実行委員の思いを込めたテーマにふさわしい学園祭となりました。

第1回からの歴史を誇る「医学展」や「仮装行列」は今回も健在！たいへん熱の入った内容で、ご来園の皆様の注目を集めていました。

本学園の学園祭は、学生を中心としつつも教職員一体となって企画･立案し、実施されています。卒業生や退職された皆様からもさらに多くのご参加をいただき、また、地域社会との連帯をより深める大事な行事として取り組んでまいります。

医学展　「ハートキャッチ☆KAWASAKI」

第42回テーマ「笑顔満祭」

医学講演会　「身近な心臓病」

仮装演技1位「Platanus」（医科大学）

最優秀行進賞「チーム美男美女」（リハビリテーション学院）

ホームカミングデー開催　川崎医科大学、川崎医療福祉大学、川崎医療短期大学

第42回川崎学園祭に合わせて、医科大学、医療福祉大学、医療短期大学の各同窓会の「ホームカミングデー」が開催されました。

ホームカミングデーは、医療福祉大学同窓会が「同窓生に母校に帰ってきてもらう機会を作ろう」との主旨で始めたもので、今年で10回目となりました。その後、医療短期大学松丘会でも5年前から始まり、医科大学同窓会では同窓会創立40周年記念行事の一環として今年初開催となりました。

各同窓会とも、いろいろな趣向を凝らし、家族で参加でき、みんなで楽しめる企画が満載でした。

医療福祉大学では、家族で楽しむ「親子工作教室」や同窓生が楽器を持ち寄り行う「プチ演奏会」、同窓生による「プチ整体」など数多くのイベントが行われました。

医療短期大学では、第5回を記念した、森光 大栄養科支部長の講演会や、バンド「グラッシーズ」による生演奏、「アロマイベント」も行われました。

医科大学では大学の現状を知っていただくための講演会（原田 保川崎医科大学支部長）や、学内見学会の他、竣工した総合医療センターの見学なども行われました。当日は医科大学の保護者会も開催されており、“保護者”の卒業生も多数参加くださいました。

各会場では、懐かしい恩師と再会したり、同窓生と交流を深めたりする姿があちこちで見られ、同窓生の皆様が、母校で勉学に励んでいた頃を思い出す良い機会になったのではないでしょうか。

医療福祉大学同窓会

卒業アルバムで当時を懐かしむ同窓生

くつろぎスペースにて

医療短期大学松丘会

グラッシーズによる生演奏

体育館西側の特設テントで受付

医科大学同窓会

原田支部長による講演

医科大学校舎棟706教室前の受付

災害時に医療支援 AMDAと医療連携協定締結

AMDAと川崎学園は、7月6日㈬、西館棟16階大会議室にて、南海トラフ巨大地震をはじめとする国内の大規模災害に備え、被災者支援のための医療連携協定を締結しました。これにより、川崎学園は災害発生時に、AMDAからの要請を受け、医師、看護師、調整委員の3名を基本とする緊急医療チームを構成し、AMDAが既に災害時の協定を結んでいる徳島県、高知県への医療支援を行うこととなります。

AMDAグループ菅波茂代表と川﨑誠治理事長が和やかな雰囲気のなか、協定書に署名・押印。菅波代表は、「南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくない状況にあり、AMDAは、高知県、徳島県に避難所を指定して災害発生の緊急事態に備えて準備を進めている。川崎学園には指定した避難所の医療支援にあたっていただきたい」と挨拶されました。川﨑理事長は、「学園には四国4県の出身学生および教職員が現在1,052名おり、活躍してくれている。中四国唯一の私立医科大学を持つ学園の責務として四国各県の災害医療に貢献できればと考えている。また、この協定締結を機に、組織だった被災地への支援が提供できる体制が構築されていくことを期待する」と挨拶されました。

今年で8回目 かわさき夏の子ども体験教室2016開催

8月18日㈭・19日㈮、現代医学教育博物館・臨床教育研修センターを主会場に、「かわさき夏の子ども体験教室2016」を開催しました。

このイベントは、学園の社会貢献活動の一環として、小・中学生を対象に、医科大学が主催し学園内の全施設が一丸となって協力し実施しています。「ライフサイエンスのふしぎ」をテーマに、医療の現場の見学や、救急救命、手術、看護などの模擬体験を通して医療・福祉に関する興味や関心を高め、将来の学びへのモチベーションの向上を図ることを目的としています。

ドクターヘリ見学

外科医体験

心肺蘇生体験

2009年の第1回開催以降、回を重ねるごとに応募者が増え、8回目となる今回は、募集人数200名に対し、県内外から1,225名の応募がありました。付添いの保護者の方々、託児のお子さまを含め、２日間で477名の皆さんにご参加いただきました。

子どもたちは熱心に医師の講演や体験教室に取り組み、会場には子どもたちの元気なパワーが溢れていました。アンケートに、「とても貴重な体験ができた」、「医師になりたいと思った」といった感想も多く、医療・福祉をより身近に感じていただくよい機会となりました。

医科大学学長からの修了証書授与

詳細や感想はWebサイトに掲載　かわさき夏の子ども体験教室　検索

本学園の教職員が 大会長を務めます

学会・研究会名	開催日	会場	代表者
第27回 日本小児外科QOL研究会	2016/10/15	川崎医科大学 現代医学教育博物館	会　長:植村 貞繁（川崎医科大学 小児外科学教授）
第57回 日本児童青年精神医学会総会	2016/10/27～29	岡山コンベンションセンター	会　長:青木 省三（川崎医科大学 精神科学教授）
日本音楽即興学会 第8回学術大会	2016/11/12～13	川崎医療福祉大学	大会長:田中 順子（川崎医療福祉大学 リハビリテーション学科准教授）
日本顕微鏡学会 第59回シンポジウム	2016/11/18～19	帝京平成大学 池袋キャンパス	実行委員長:山田 作夫（川崎医科大学 微生物学准教授）
第48回 日本小児感染症学会総会・学術集会	2016/11/19～20	岡山コンベンションセンター	会　長:尾内 一信（川崎医科大学 小児科学教授）
第20回 日本ヒスタミン学会	2016/11/24～25	倉敷市立美術館	会　長:原田 保　（川崎医科大学 耳鼻咽喉科学教授）
第1回 日本メディカルイラストレーション学会学術集会・総会	2016/12/4	川崎医科大学 現代医学教育博物館	会　長:レオン佐久間（川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科特任教授）
第11回 日本病院前救急診療医学会総会・学術集会	2016/12/9	岡山国際交流センター	会　長:荻野 隆光（川崎医科大学 救急医学教授）
第32回 日本静脈経腸栄養学会学術集会	2017/2/23～24	岡山シンフォニーホール 他	会　長:平井 敏弘（川崎医療福祉大学 臨床栄養学科特任教授）
腎・泌尿器検査研究会 第13回学術集会	2017/3/11～12	川崎医科大学 現代医学教育博物館	大会長:柏原 直樹（川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学教授）
日本高血圧学会 第6回臨床高血圧フォーラム	2017/5/13～14	岡山コンベンションセンター	会　長:柏原 直樹（川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学教授）
日本保育学会 第70回大会	2017/5/20～21	川﨑祐宣記念講堂 他	実行委員長:橋本 勇人（川崎医療短期大学 医療保育科教授）
第38回 癌免疫外科研究会	2017/5/25～26	倉敷アイビースクエア	世話人:山口 佳之（川崎医科大学 臨床腫瘍学教授）
第40回 日本バイオレオロジー学会年会	2017/5/27～28	川﨑祐宣記念講堂	年会長:望月 精一（川崎医療福祉大学 臨床工学科教授）
第54回 日本リハビリテーション医学会学術集会	2017/6/8～6/10	岡山コンベンションセンター 他	大会長:椿原 彰夫（川崎医療福祉大学学長）
日本アンドロロジー学会 第36回学術大会	2017/6/30～7/1	倉敷芸文館	会　長:永井 敦　（川崎医科大学 泌尿器科学教授）

川崎医科大学附属病院・附属川崎病院
医療連携懇話会　開催

地域の医療機関の皆様と顔の見える連携を深めるため、附属病院および附属川崎病院では、毎年「医療連携懇話会」を開催しています。

本年は、附属病院では9月14日㈬川崎祐宣記念講堂にて第9回を、附属川崎病院では6月8日㈬ホテルグランヴィア岡山で第4回を開催しました。医療機関からのご参加は年々増え、今年は両病院とも過去最高のご参加をいただきました。

前半の講演会では、診療部長が診療の最新トピックや取り組みについて講演。後半は会場を別室に移し、理事長、医科大学学長、院長をはじめ、各診療科から多数の医師、看護師も参加し、和やかな雰囲気の中、緊密な意見交換が行われました。

患者さんやご家族から信頼される医療を提供していくためには、地域の医療機関の皆様との連携がいかに大切であるか、そして、「医療は患者さんのためにある」ということを見つめなおす一日となりました。

附属病院　川崎祐宣記念講堂での講演会

附属川崎病院　開会挨拶をする川崎誠治院長

診療科ご案内

川崎医科大学附属病院
消化器外科

食道・胃・小腸・大腸・直腸・肛門までの消化管領域と、肝臓・胆道・膵臓・脾臓などの肝胆膵領域と、全ての消化器外科領域の良性・悪性疾患を担当しています。また、急患を積極的に受け入れつつ、ヘルニア等の一般外科診療も行っています。当科でも鏡視下手術を積極的に取り入れ、“体に優しい高度な手術”を行っています。大学病院は最先端の治療の実施、先進医療の開発、そして、卒前・卒後の医学教育を行うことが使命です。患者さんに対し常に最善の治療を提供できるよう、スタッフ一丸となって、日夜努力をしております。

上野 富雄 教授

診療科ご案内

川崎医科大学総合医療センター
整形外科

整形外科は、運動を司る器官を構成する関節や組織の損傷から発生する疾病およびスポーツによるケガ・障害に対する治療を多く行っています。特に、膝の靭帯や半月板損傷、肩の脱臼、肘の骨や軟骨がはがれる関節遊離体などの低侵襲の関節鏡手術は、中四国最多の250例以上になります。膝軟骨欠損膝に対しては、2013年に岡山県内初の自家培養軟骨移植手術を成功し、多くの軟骨損傷患者の治療を行ってきました。

また、変形性関節症の治療には人工関節による置換術を行っています。正しい位置に正確に設置できるよう全ての症例にコンピューターナビゲーションを取り入れて行っています。

阿部 信寛 教授

平成29年度 入試情報

平成28年12月現在の情報です。詳細は各施設のWebサイトをご覧ください。

	試験区分	出願期間	試験日	合格発表	募集人員
川崎医科大学	特別推薦入試（専願）	11/1 ～ 9	一次 11/12㈯	11/19	中国・四国地域枠 約15名 岡山県地域枠 約5名
			二次 11/26㈯	12/2	
	一般入試	12/5 ～ 1/13	一次 1/22㈰	1/24	一般 約60名 静岡県地域枠(専願)10名 長崎県地域枠(専願) 6名
			二次 1/27㈮又は28㈯	2/1	
	大学院（二次募集）	11/28 ～ 12/9	1/5㈭	1/19	若干名
川崎医科大学附属高等学校	専願入試	12/26 ～ 1/10	1/15㈰	1/18	約20名
	一般入試	2/6 ～ 14	2/19㈰	2/22	約15名
	転入学	2/6 ～ 14	2/19㈰	2/22	若干名
川崎医療福祉大学	編入学二次	2/13 ～ 20	2/28㈫	3/4	若干名
	大学院入試 修士課程・博士後期課程2期	2/13 ～ 20	2/28㈫	3/4	修士 26名　博士 17名

平成29年度入試、前半戦終了

今年度から、医療福祉大学・医療短期大学・リハビリテーション学院の３校では、合同入試を実施しています。その前半戦、専願区分のAO入試前期(8月)・後期(9月)、推薦入試前期(10月)、そして併願区分の最初である推薦入試後期（11月）が無事終了しました。

3校合同入試は、共通の日程、共通の選抜方法で実施されるもので、受験生は今年度から新たに導入された「基礎学力確認テスト」と面接に挑みました。

AO入試は、3校の全学科で導入され、たいへん大きな反響がありました。また、今年度から開始されたWeb出願も、受験生に好評で、順調に運用されています。

今後、1月に一般入試前期・センター試験利用入試、2月に一般入試後期と続きます。一般入試前期は、医療福祉大学の他に全国11会場で実施されます。また、センター試験利用入試との同時出願も可能になっています。

来春の3校入学生から、KAWASAKI CLUB会員および会員のお子さま(1親等)を対象とした奨学金制度をご利用いただけます。詳細は下記をご覧ください。

参加者 大幅増！“オープンキャンパス 2016”

医療福祉大学・医療短期大学・リハビリテーション学院が３校合同入試制度を導入、また、医療福祉大学は3学科新設・入学定員増と、今年はまさに大変革の年となりました。

多くの受験生・保護者の皆様、また、指導される高校の先生方にとって戸惑いを感じることがあったかと思います。そのような中、多くの受験生がオープンキャンパスに参加されました。学科の紹介、めざす医療職の仕事の理解や模擬体験、附属病院の見学、入試情報・・・と、さまざまな疑問を解決して進路選択に確信を持っていただけたようでした。

オープンキャンパスは、３校合同の他、各校単独でも実施し、全体として昨年度を大きく上回る方々にご参加いただきました。

3校合同オープンキャンパスで新入試制度の説明を熱心に聞く参加者

大人気の病院見学ツアー

3校合同オープンキャンパス

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学・
川崎リハビリテーション学院
2017年3月20日（月・祝）
13:00～16:00
問合せ先　☎086-464-1064
川崎学園アドミッションセンター

KAWASAKI CLUB 奨学金制度が始まります

前号18号でお知らせいたしました奨学金制度が、平成29年度春の入学生よりご利用いただけます。

奨学金制度の内容

- 対象者：KAWASAKI CLUB会員および会員のお子さま（1親等）
- 対象者が医療福祉大学・医療短期大学・リハビリテーション学院のいずれかへ入学した場合に、入学金の2分の1を奨学金として給付する

手続きの方法

以下の申請期間内に、入学した学校の窓口で申請用紙を入手の上、申請してください。

【申請期間】入学日～入学年度の5月末日まで

【申請窓口】

医療福祉大学 事務部 学生課　TEL.086-462-1111（代表）内線54229
医療短期大学 事務部 庶務課　TEL.086-462-1111（代表）内線43006
リハビリテーション学院 事務室　TEL.086-462-1111（代表）内線27838

平成29年度 3校合同入試情報

		試験区分	出願期間	試験日	合格発表日	募集人員 医療福祉大学	募集人員 医療短期大学	募集人員 リハビリテーション学院	試験会場	備考
川崎医療福祉大学 川崎医療短期大学 川崎リハビリテーション学院	専願	AO入試 前期	8/5～17	8/27(土)	9/2	102	30	4	出願した各校	
	専願	AO入試 後期	9/5～13	9/24(土)	9/30	92	15	5	出願した各校	
	専願	推薦入試 前期	10/7～17	10/29(土)	11/4	232	75	25	出願した各校	
	併願可※1	推薦入試 後期A日程	11/4～12	11/25(金)	12/2	218	25	6	医療福祉大学 東京、名古屋 大阪、米子 広島、山口 高松、松山 高知、福岡 鹿児島	A、Bの両日程の受験可能
	併願可※1	推薦入試 後期B日程		11/26(土)						
	併願可※1	一般入試 前期A日程	1/5～17	1/30(月)	2/7	428	43	8		A、Bの両日程の受験可能
	併願可※1	一般入試 前期B日程		1/31(火)						
	併願可※1	センター試験利用入試※2		1/30(月)・1/31(火)いずれかで面接		70	5	–		一般入試前期との同時出願可能
		一般入試 後期	2/7～13	2/22(水)	2/27	44	7	2	医療福祉大学	

※1:「併願可」の試験については、他大学等との併願と共に、「医療福祉大学」・「医療短期大学」・「リハビリテーション学院」の全ての学科・専攻で併願が可能（併願数に制限なし）です。
ただし、「センター試験利用入試」では「リハビリテーション学院」を除きます。
※2:センター試験利用入試のみ受験する場合は、1/30(月)もしくは1/31(火)のどちらかを選択し、面接を受けてください。

公開講座・セミナーのご案内（12月～H29.3月）

現在決定している主なものです。最新情報は各施設のWebサイト等でお知らせいたします。

主催	公開講座・セミナー名	テーマ	日時	講師（①②③は講演順）	会場	対象	参加費・申込	定員	問合せ先
附属病院	がん市民公開講座	**免疫療法について（仮）**	3/4(土) 13:30～16:00	調整中 決定次第Webサイトでお知らせいたします。	医科大学 校舎練7階 M-702教室	一般	無料		患者診療支援センター 086-462-1111 （内線 22612）
附属病院	市民公開講座 もの忘れフォーラム	**認知症と自動車運転**	3/11(土) 13:15～16:00		くらしき 健康福祉プラザ	一般	無料 申込必要		認知症疾患医療センター 086-464-0661
総合医療センター	**開院記念 市民公開講座**	**高度ながん治療の最前線**	12/17(土) 13:30～15:30	①瀧川 奈義夫（内科部長） ②林　貴史　（放射線科副部長） ③猶本 良夫　（院長代理・外科部長）	総合医療センター 2階 川崎祐宣 記念ホール	一般	無料		病院庶務課 庶務係 086-225-2171
総合医療センター	毎月テーマを変えて、11月まで全12回開催します。								
総合医療センター	せとうちクリニカル・ベストプラクティス・ミーティング	**スキンケアの基礎知識 ～ストーマからおしめかぶれまで～**	2/25(土) 14:00～16:00	天野 晃子 （皮膚・排泄ケア認定看護師）	総合医療センター 1階 かわさき コミュニティ ホール	医療従事者	無料 申込必要	30名	地域医療連携室 086-225-2133
総合医療センター		**救急対応の初歩 ～観察からAEDまで～**	3/25(土) 14:00～16:00	力石 歩美（救急看護認定看護師）				30名	
医療福祉大学	医療情報セミナー	**変化を続ける健康概念、 カルテ開示とそれに関わる診療記録**	12/24(土) 13:00～17:00	①三田 岳彦（医療情報学科助教） ②阿南 誠　（医療情報学科准教授）	医療福祉大学 講義棟 4603教室	一般	無料 申込必要 （12/17）	100名	医療情報学科 086-462-1111 （内線54310）

川崎学園およびKAWASAKI CLUB のWebサイトで最新のトピックを紹介しています。ぜひご覧ください。 川崎学園 > メディア情報　KAWASAKI CLUB > News & Topics

以下は、一部紹介　（　）は掲載日・発行日

■新聞

- 「地域対応医療福祉人」をテーマに1月連載開始予定／山陽新聞MEDICA[医療福祉大学]
- 患者の満足度向上を目的とした「レシピコンテスト」開催／毎日新聞（11/25）[附属病院]
- 原点回帰 病院は患者さんのために／中四国医事新報（11/20）[総合医療センター]
- ⓐ壁面アートが完成／山陽新聞（11/8）[総合医療センター・医療福祉大学]
- 院長に聞く／山陽新聞MEDICA（11/7）[総合医療センター]
- ⓑ市民、医療者 学びの場に／山陽新聞（10/6）[医科大学]
- 広がる胎児治療／中国新聞（10/5）[附属病院]
- 〔スペシャリスト〕前立腺がんのロボット手術／山陽新聞MEDICA（10/3）[附属川崎病院]
- 眼科診療支える視能訓練士／山陽新聞（9/25）[医療福祉大学]
- 〔名医に聞く〕斜視・弱視の治療／山陽新聞MEDICA（9/19）[附属川崎病院]
- 遺伝診療部を新設／山陽新聞（9/5）[附属病院]
- ⓒ入院中の子ども ピエロが癒やし ／山陽新聞（8/26）[附属病院]
- 県地域包括ケアシステム学会発足 在宅医療・介護へ連携／山陽新聞（8/26）[医療福祉大学]
- 小中学生が体験 川崎医科大で教室／山陽新聞（8/19）[医科大学]
- 心に寄り添う言語聴覚士目指す／山陽新聞（7/30）[医療福祉大学]
- 肝臓病の最新知見や治療法／山陽新聞（7/18）[附属病院]

ⓐ

来月開院 川崎医科大医療センター
壁面アートが完成
温かみある大木表現

ⓑ

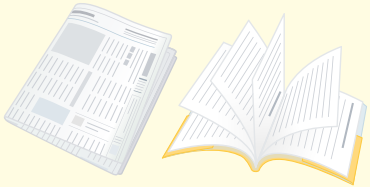
川崎医科大現代医学教育博物館35周年
市民、医療者 学びの場に
利用者拡大へ出前授業も

ⓒ

入院中の子ども
ピエロが癒やし

■雑誌

◇子育て応援誌『HUG HUG』
　川崎医科大学総合医療センター開院特集（10/20・11/20・12/20予定）
　子どもの手術と小児外科（8/20・9/20）
　子どもの「耳・鼻の病気」（6/20・7/20）
◇情報誌『オセラ』
　作業療法士（12/25予定）　言語聴覚士（10/25）
　視能訓練士（8/25）　臨床工学技士（6/25）



KAWASAKI CLUBは、会員の皆様を対象に、生涯学習・生涯教育の場として発足しました。情報誌として年２回「KAWASAKI CLUB NEWS」をお届けいたします。KAWASAKI CLUBの運営や「KAWASAKI CLUB NEWS」へのご要望ご提案をお待ちしています。
住所変更・カード紛失等がございましたら、メールか電話にてお知らせください。
また、「KAWASAKI CLUB NEWS」が届いていない方をご存じでしたら、情報（氏名、住所等）をお寄せください。

☎ 086－464－1546（いごよろしく）　✉ club@med.kawasaki-m.ac.jp　〒701-0192 倉敷市松島577（川崎学園内 本館棟8階）
※電話受付時間は、平日9:00～16:30　土曜9:00～12:00　（12/29～1/3、6/1学園創立記念日はお休みです）